

英語科学習指導案

令和5年6月2日(金) 学習指導Ⅳ 第5学年3組(5年3組教室) 指導者 原 雄規
Smith Gavin John

【単元】"Your school & Our school" ～留学生と学校生活について伝え合おう～

考察	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
育成を目指す資質能力	・学校生活について伝え合う際に用いる英語の音声や文字、英語表現、文構造、言語の働きについての知識 ・附属小の学校生活について伝えたり、外国の学校生活について尋ねたりする際に活用できる基本的な技能	・外国の学校生活と附属小の学校生活の違いを知るために、外国の学校生活について尋ねたいことや、附属小の学校生活について伝えたいことに応じて、英語表現の選択・組合せをし、英語を用いて分かりやすく伝える力	・英語を用いて、留学生に伝わるように工夫をしながら、附属小の学校生活について伝えようとしたり、留学生が伝える外国の学校生活について、反応や質問をしながら聞こうとしたりして、コミュニケーションを図る楽しさを実感する態度
子どもの実態	・教科や教室の名前を表す英語表現の音声、自分の考えや気持ちを伝える働きがある【主語＋動詞＋名詞】【It's＋形容詞】等の文構造に慣れ親しんでいる。 ・相手の考えや気持ちを聞く際に、複数の情報が伝達されると、その話の概要を捉えることに困難さを感じる子どもがいる。	・"I like ~.", "My favorite place is ~."の英語表現の選択・組合せをし、自分の好きな教科や学校内のお気に入りの場所を伝えられるようになってきている。 ・英語表現の選択・組合せをする際に、相手の反応や質問に応じて自分の考えや気持ちを見直し、それらを反映させて伝えることに困難さを感じる子どもがいる。	・英語を用いて、相手に伝わるように工夫をしながら、自分の好きな教科、学校内のお気に入りの場所を友達やALTに伝えようとしてきている。 ・自分の考えや気持ちを伝えることに集中してしまうため、相手の考えや気持ちを聞こうとする子どもは少ない。
価値	・子どもは、前単元で、群馬大学の留学生と交流をしてきており、留学生のことをさらに知りたいと思っている。また、留学生は日本で生活し、日本の生活や文化を詳しく知りたいと思っている。そのような中で、自らの国の学校生活について伝え合うことは、互いの生活や文化の違いに気付くとともに、互いを尊重し合おうとする気持ちが高まる。さらに、学校生活は子どもたちにとって、身近な話題であるため、当事者意識をもって考えや気持ちを伝えることができる。そのため、コミュニケーションを図る楽しさを実感することができる。 ・モデル動画を視聴し、学校生活について伝え合うことは、学校生活に関する英語表現を繰り返し用いることになるため、"We can ~."や"Can you ~?"等の文構造について理解できる。 ・身近な学校生活について伝え合うことは、伝える内容が容易なため、聞き取れなかったことを尋ねたり、繰り返し説明するよう求めたりできるため、その話の概要を捉えられる。	・学校生活について伝え合う際に、"We can ~.", "Can you ~?"等の英語表現を用いることは、自分が尋ねたいことや伝えたいことに応じた英語表現の選択・組合せをすることができる。 ・学校生活は、子どもにとって身近な事柄であるため、自分の考えや気持ちをもつことができ、相手に伝わるように、試行錯誤しながら、英語表現の選択・組合せを繰り返すことができる。	・前単元で自己紹介をし合った留学生と学校生活について伝え合うことは、以前に知った留学生の情報を生かすことができるため、さらに互いのことを伝え合いたいという思いが高まる。 ・留学生と学校生活について伝え合うことは、外国の学校生活と附属小の学校生活の違いに気付くため、コミュニケーションを図る楽しさを実感できる。
見方・考え方	英語やその背景にある文化を捉え、外国と附属小の学校生活について知るという目的をもち、留学生と学校生活でできること・楽しむことについて伝え合う場面において、留学生の質問に答えるという状況に応じて、英語表現の選択・組合せをしたり、伝え方を工夫したりすること		
今後の学習	5年「すごいぞ日本！プレゼンテーション」で、"We have ~.", "You can enjoy ~."等の英語表現を用いて、日本文化を留学生に伝え、コミュニケーションを図る楽しさを実感する学習へと発展していく。		

指導と評価の計画

目標	外国の学校生活と附属小の学校生活の違いを知るために、相手に伝わるように工夫をしながら、留学生と学校生活について伝え合うことができる。			
評価 規準	(①知・技) 学校生活について伝え合う際に用いる英語表現や文構造について理解している。 学校生活について伝え合う際に用いる英語表現を英語の音声で発音したり, "We can~.", "Can you~?"等を用いて伝えたりしている。 (②思・判・表) 英語表現の選択・組合せをし, 友達や留学生の反応に応じて, 外国の学校生活について尋ねたり, 附属小の学校生活について伝えたりしている。 (③主体的態度) 友達や留学生に伝わるように工夫しながら, 英語表現を用いて, 外国の学校生活について尋ねたり, 附属小の学校生活について伝えたりしようとしている。			
言語 材料	Do you have (sports day / school lunch / orienteering / relay race / jumping rope contest/ Japanese classes / English classes / math classes / a library / gym) ? Can you (play dodgeball / eat school lunch / borrow books / study cooking / study Japanese) in your school? We have ~. We can ~. I like ~. It's (cool / fun / delicious / beautiful / interesting).			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
つか む	I	○J T EとA L Tが学校生活について伝え合うモデルを見聞きし, 外国の学校生活について知りたいことをグループや学級全体で話し合う。	○外国の学校生活について知りたいという思いをもてるように, A L Tの出身地であるスコットランドの学校生活を表した写真を用意する。	◇外国の学校生活について知りたいことを発言したり, 記述したりしている。 ＜発言・Tryシート③＞
	I	○J T Eと留学生のやりとりを通して, 附属小の学校生活について知りたいという留学生の思いを知り, 留学生に伝えたい附属小の学校生活についてグループや学級全体で話し合い, 単元の課題 (Unit Goal) をつ かわ。 Unit Goal 群馬大学の留学生とお互いの学校生活について伝え合って, 学校生活の違いを知ることを楽しもう	○英語を用いて, 附属小の学校生活について伝えたいという思いをもてるように, 留学生が附属小の学校生活について問かける機会を設定する。	◇附属小の学校生活について伝えられるようになりたいという思いを発言したり, 記述したりしている。 ＜発言・Tryシート③＞
追 究 す る	I	○留学生に尋ねたい学校生活の様子や, 伝えたい附属小の学校生活の様子について決め, 学校生活を表す英語の音声を知る。	○附属小の学校生活を表す英語表現を想起できるように, 附属小の学校生活や行事の写真を用意する。	◇ 附属小の学校生活を英語の音声やリズムで発音している。 ＜行動①＞
	I	○"Do you have ~?"や"Can you~?"を用いて, 留学生に外国の学校生活について尋ねる。	○留学生に尋ねたい学校生活の英語表現を想起できるように, 学校生活に関する英語表現を一覧にした資料を用意する。	◇学校生活でできること・楽しめることを表す英語表現の選択・組合せをし, 尋ねている。 ＜行動②＞
	I	○ 附属小の学校生活でできること・楽しめることを表す英語表現と"We have ~." "We can~."を用いて, 附属小の学校生活について伝える。(本時)	○附属小の学校生活でできること・楽しめることに応じて, 英語表現の選択・組合せをできるように, グループや学級全体で分からない英語表現について話し合う機会を設定する。	◇学校生活でできること・楽しめることを表す英語表現の選択・組合せをし, 附属小の学校生活について伝えている。 ＜行動②＞
	I	○自分の思いや附属小の学校生活の様子を表す英語表現と"I like ~." "It's ~."の英語表現を用いて, 附属小の学校生活について自分の思いを伝える。	○自分の思いや附属小の学校生活の様子を表す英語表現の音声を繰り返し聞いたり, 発音したりできるように, A L Tのモデル動画をタブレットに用意する。	◇自分の思いや附属小の学校生活の様子を表す英語表現を英語の音声・リズムで発音している。 ＜行動①＞
	I	○留学生と学校生活について伝え合うことに向けて, 他学級の子ともと学校生活について伝え合い, 英語表現や伝え方を改善する。	○附属小の学校生活について伝える英語表現や伝え方を改善するきっかけを得られるように, 相手を替えて繰り返し英語で伝え合う機会を設定する。	◇ 学校生活でできること・楽しめること, 自分の思い, 学校生活の様子について尋ねたり, 伝えたりしている。 ＜行動②＞
ま と め る	I	○韓国や台湾, ウクライナから来た群馬大学の留学生と互いの学校生活について伝え合う。	○学校生活について伝え合う英語表現を想起できるように, タブレット内にあるA L Tのモデル動画を視聴する機会を設定する。	◇ 英語の音声や文構造, 聞き取りやすい声の大きさや速さで, 外国の学校生活について尋ねたり, 附属小の学校生活について伝えたりしている。 ＜行動①②③＞

本時の学習（５／８時間目）

ね ら い 附属小の学校生活について伝える英語表現をグループや学級全体で話し合い、英語表現の選択・組合せを試すことを通して、附属小の学校生活について伝えることができる。

評価項目 学校生活でできること・楽しめることの英語表現の選択・組合せをし、附属小の学校生活について伝えている。

<行動②>

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
1 本時のめあてをつかむ。 - 群馬大学の留学生は、附属小の学校生活を知りたがっていたな。 - Andrianaさんに附属小の学校生活について知ってもらえるように、「おはよう活動」でできることや楽しめることを英語で伝えられるようになりたいな。 (目的意識) めあて：附属小の学校生活について英語で分かりやすく伝えられるようになるう	○留学生が附属小の学校生活について知りたいという気持ちをもっていることを想起できるように、留学生からのメッセージ動画を提示し、その内容について問いかける。 ○留学生に附属小の学校生活について伝えるという目的意識を高められるように、留学生の写真や附属小の学校生活の写真を提示し、学校生活を伝える留学生の名前や伝えたい学校生活を問いかける。
2 学校生活について伝え合う。 "We have morning activities."だけでは足りないと思うな。「いろんなゲームを楽しめる」や「友達ができる」を足したいな。でも英語で何と言うか分からないぞ。共有ノートに書いておこう。 - 友達が「『楽しめる』は"We can enjoy"を使うと言えるよ」と教えてくれたよ。「いろんなゲーム」は"many games"と言えばよさそうだ。「友達ができる」はグループでは解決できなかったから、クラスのみんなに聞いてみたいな。 - クラスのみんなに「友達ができる」の言い方を質問したら、"make friends"と教えてくれたぞ。 "We can make friends."はどのように発音すればいいのかな。モデル動画を確認してみて、練習をしてみよう。 - 英語が伝わるか、試しにALTに伝えてみたら、"many friends."にしたらかどうかと助言をしてもらえたぞ。言ってみよう。 - 友達やALTが教えてくれた英語を使って、もう一度友達に「おはよう活動」について友達に伝えてみよう。最初よりうまく伝えられたぞ。 - 友達は林間学校について、いくつも情報を伝えていたぞ。その方が、留学生に林間学校の様子が伝わりやすい気がするぞ。 「おはよう活動」について「いろんなゲームを楽しめる」と、「友達ができる」ことを英語で伝えられるようになったぞ。 (目的を達成した意識) 3 本時の学習の振り返りをする。 「おはよう活動」について伝えられるようになってよかったな。	○自分の英語表現の不十分さに気付けるよう、ペアで学校生活について伝え合い、分からない表現を共有ノートに記述するよう促す。 ○分からなかった英語表現を見付けることができるように、共有ノートに記述された英語表現について、グループで話し合うように促す。 ○グループの話合いでは分からなかった英語表現を自覚できるように、大型モニターを用いて学級全体に共有ノートを提示し、グループの話合いで分からなかった英語表現を問いかける。 ○学校生活でできること・楽しめることを英語で伝えられるように、モデル動画を参考にしたり、ALTの発音を参考にしたりするよう促す。 ○グループや学級全体で話し合った英語表現を用いると学校生活について伝えられることを実感できるように、ALTに学校生活を紹介し、助言や質問を受けるよう促す。 ○附属小の学校生活について伝えられるようになったことを実感できるように、相手を替えて、繰り返し伝え合う機会を設定し、伝えられるようになったことを問いかける。 ○附属小の学校生活について複数の英語表現を組み合わせることで、より分かりやすく伝えられることに気付けるように、複数の英語表現を組み合わせている子どものモデルを紹介し、その英語表現のよさを問いかける。 ○附属小の学校生活について、自分が選んだ英語表現を用いて伝えることに自信をもてるように、学校生活でできること・楽しめることを英語で伝えられるようになったことを称賛する。 ○附属小の学校生活について伝えられるようになったことや、伝えられた楽しさを実感できるように、できるようになったことや伝えられて楽しかった気持ちをTry Sheetに記述するよう促す。